

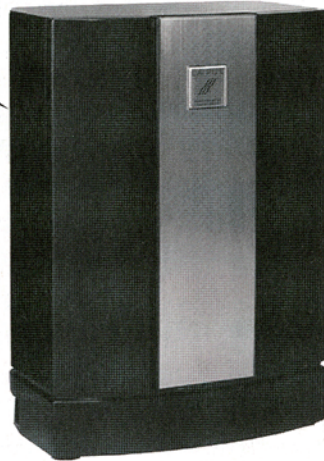
今回の「中国産の怪しい食品騒動」に端的に表れているように、ようやく私たちが長年、警告を発し続けてきた「食の安全」に世の中の関心が向いてきたところだ。中国ほどではありませんが、わが国の食品でも手放しで安心して

いるわけにはいきません。先日、約九十種のミネラルウォーターを私たちが検査したのですが、そのうちのなんと六割から硝酸態窒素が検出されたんです。

肥料をたくさんやって葉物野菜を促成栽培すると本来、たんばくに変わるべき窒素分が変わらずに硝酸態窒素として残り、これが生活習慣病の一因となっているといわれるほど危険性のあるものです。五十年ほど前にアメリカで裏ごししたホウレンソウを離乳食で与えた二百七十八人の赤ちゃんが青くなって、うち三十九名が死亡したブルーベビー事件がありました。その原因の材料に含まれていたのが硝酸態窒素でした。高濃度の硝酸を含んだ井戸水で粉ミルクを溶いたために起ることもあります。

日本でも一九九五年にブルーベビーの発症が確認され、安心できない状態になりつつあります。化学肥料や畜産排泄物が川に流

硝酸態窒素を除去する浄水器「ラピュール」。ビルトインも可能。



れ込んだり、地下浸透したりして、この硝酸態窒素は水道の水源を汚染します。これは浄水場では排除できませんし、もちろん、一般の活性炭や中空糸膜を使った浄水器では取れません。

そこで今回、オススメしたいのはハイブリッドカーボンブロックカートリッジで有害物質を濾過するのに加えて、イオン

小若順一の

この商品がオススメ!

今回、二十周年記念特別読者プレゼントを選ぶにあたって、「食べるな、危険!」をはじめとする多くのベストセラーを世に出し、独自の調査をもとに食の安全や健康について最新の情報を発信し続けている「食品と暮らしの安全」編集長の小若さんにプレゼントを推薦してもらった。

交換樹脂で硝酸態窒素を無害化する浄水器「ラピュール」(126ページ参照)です。硝酸態窒素に汚染されたペットボトルの水を買うより、この浄水器を通して出した水をペットボトルに詰めて持ち歩くほうがはるかに安全です。次にオススメするのが「コンデンス除湿乾燥機」(127ページ参照)です。

最近の住宅は気密性が高く、湿気が抜けにくくなっています。湿気が多い場所ができるのとダニが増えて、それにつれてアレルギーで悩む人が増えます。とりわけ七〇℃以上が要注意です。エアコンでドライにすると室温も下がってしまい寒過ぎる場合も出てきます。これに対してここで取り上げているのは除湿乾燥機なので、便利で安くて快適です。通常の除湿機は室温が低いと除湿能力が落ちるのに対して、これは大丈夫です。そのうえ、コンデンス方式を使っているため、外気に触れる部分が乾燥しているのでも内部にカビや雑菌が繁殖しにくい構造になっています。雨の日の室内干しでも急速乾燥でき、便利です。

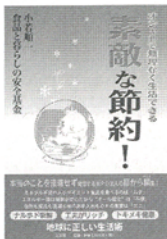
最後に、より身近で小さな商品をオススメしておきます。「サンホワイト」(127ページ参照)は非常に純度の高いワセリンで、無臭です。着色料・保存料はいっさい使っていない。乾燥肌の手入れ、手荒れ、唇の乾燥、日焼けした肌の手入れに使用できます。このほ

か保湿が必要なところはどんなところにも利用できます。私は整髪剤として使っています。アレルギーパッチテストのコントロール基剤に採用されるほど安全で、赤ちゃんのスキンケアにも使えます。今回は三つの商品をオススメしましたが、このほかにもたくさん私たちのもとには食や暮らしの安全に関する最新の情報が集まってきています。本誌の読者にも参考になると思いますので関心のある人は一度連絡してみてください。



小若順一さん
1984年に食品と暮らしの安全基金(旧称・日本子孫基金)を設立して現在代表を務める。編著書に『新・食べるな、危険!』『使うな、危険!』『リサイクルは資源のムダ使い』(講談社)など。

最新刊「オシャレで無理なく暮らせる素敵な節約!」



「健康」「安全」「エコ」などを謳い文句にした商品が氾濫するなか、消費者の立場から、キッチンとその中味を評価して、是非を明解に述べた本。ダイエット食品やオール電化などの矛盾をつきつつ、実際の暮らしの面では無理なくオシャレにシンプルに、と提案。(三五館/1050円)